

# みみずくの森

第12号  
2024年6月  
七尾市立図書館  
友の会発行  
発行責任者  
芹田玲子

## 子どもたちと楽しいひとときを

図書館まつり 7月7日(日)に開催



写真は、いずれも第43回「図書館まつり」会場の様子です

### プログラム

10時～14時

- ◆手作り工作 ◆伝承あそび
- ◆スタンプラリー ◆紙芝居
- ◆紙ひこうき
- ◆本のバザール
- ◆本のよみきかせ
- ◆人形劇「だるまちゃん」と「てんぐちゃん」

11時～11時50分頃

第四十五回「図書館まつり」が七月七日に開催されます。ミナクル三階の図書館に、手作り工作、昔ながらの伝承あそび、スタンプラリーなどのコーナーが出現します。「しひびの会」による読み聞かせと、人形劇の上演もあります。

上演もあります。

例年人気の「本のバザール」では、意外な一冊との出会いがあるかもしれません。今年はミナクル祭も同時開催です。七夕の日は、ミナクルと図書館で楽しい時間を過ごしませんか。

## 足の踏み場もなかつた図書館

### 令和六年能登地震・がんばった職員

元旦の地震による図書館被害について作井副館長に聞きました。「地震直後、自宅被害もかえりみず数名の職員が本館に駆けつけると、書架は倒れなかつたものの蔵書はすべて落下し足の踏み場もなかつた。四日から全職

員が出勤し本の棚戻しにとりかかる。二〇〇六年の能登地震では友の会にも協力をお願いしたが、今回は建物の安全性が確認できず、また断水でトイレ用水は屋上タンクの残り水だけという状況で、これでは応援は頼めない



## 本のバザールに ご協力ください

「図書館まつり・本のバザール」で販売する本を募集しています。本の売り上げは図書館友の会が出版する郷土図書の資金となります。

譲ってもよい本がありましたら7月6日までに図書館窓口へお持込みください。



絵 Mimi Café Union

## 第五十五回定期総会 記念講演

### 「七尾と西田幾多郎」 山名田紗智子氏

西田幾多郎記念哲学館 学芸員

友の会定期総会が令和六年五月十二日(日)寄り合い処みそぎで行われ、三十四名の会員が出席しました。

記念講演は山名田紗智子氏にお願いしました。今年三月十二日の七尾市立図書館「哲



### 石動山開山祭雅楽

写真提供 寺野時雄さん



### 石動山の開山祭とは

奈良時代に石動山を開山したとされる泰澄大師の命日といわれる7月7日に行われる神事である。

大師の魂をしのぶ「御靈祭り」としても親しまれており、参拝者の1年間の健康と安全を祈願している。

境内にあるイワシガ池の水は、靈験あらたかな水として、持ち帰る人も多い。

(中能登町ホームページより引用)

さつです。

明治三年に宇ノ氣村に生

田幾多郎の新婚時代は七尾  
だつたのである。  
ところが、就職して間も  
なく明治二十八年四月二十  
九日七尾町に火災が発生、  
九百戸以上が燃えた。七尾  
分校も被災し、一時山の寺  
の龍門寺を仮校舎としてい

たが、一年後、西田は七尾  
を去る。

山名田さんはプロジェクト

ターを使い西田幾多郎の辞

令や、当時の新聞記事など

を見せてわかりやすく説明

してくださいました。

まれた西田幾多郎は二十五歳の時、得田寿美と結婚し、石川県尋常中学校（七尾分校）の教諭となる。教科は倫理で分校主任、月給四十五円、住まいは湊町の大乗寺に寄寓していた。西

小村和代さんとともに、ボランティアしてくださった方です。

「哲学カフェ」って何？と集まつた二十名の参加者

学カフェ」で鷲沢淑子さん、名進行で、あつという間の二時間でした。

その時、山名田さんから、「実は西田幾多郎と七尾は深い関係があるのでよ」とお聞きして、それで是非にとお願いしたのが今回講演会実現までのいき



### 心をほぐし

#### 自然や日常を見つめてみませんか

##### 〈文章講座・ただいま参加者募集中〉

友の会では「心をほぐし、自然や日常を見つめてみませんか」と題して二回に分けて文章講座をひらきます。

講座のお世話をしてください

るのは雪嶺文学同人で友の会

会員の室屋圭さん吉川悠さん

のお二人です。

会場は「寄り合い処みそぎ」をお借りして時間は午後

一時半～三時半までの二時間となります。

第一回は九月八日(日)

「笑顔になるときを紹介しま

しょう」「書き方の基本をク

イズで確認しましょう」「自

講座は以上のコースです。室屋さんから「心をほぐしてかけです」とメールを頂きました。気軽にお申し込み下さい。受付は図書館窓口です。

然や日常からテーマを選び書いてみましょう」の三つの活動を通して文章作りの基本を学び、ひと月後の完成に向けて創作に取りかかります。

第二回は十月五日(土)

推敲の仕方や題名の付け方を確認します。自分の文章や題名を見直し、練り込み完成させましょう。

